

クリーニングクロス
Toraysee® for CE
USER'S REPORT 2

北里大学病院 ME部



当院における Toraysee® for CE での機器清拭の手順

1st. 感染症の有無を確認 Step

感染症の患者様に使用された場合は、院内の規定に従って処理を行い、その後、Toraysee® を使用します。



目視で血液付着を確認した場合は、予め環境クロス等で除去します。

2nd. 機器の仕分け Step

同じ種類毎での清拭を行っています。



1ヶ月の医療機器返却件数：約 2,000 件 / 月

主な返却機器：

輸液ポンプ / シリンジポンプ / フットポンプ / 人工呼吸器 etc...

3rd. Toraysee®を 1/4 に折り、両面に霧吹きを使って水で湿らせる Step



乾式と比べて、軽く湿らせた方が、汚れはよく拭き取れます。

4th. Toraysee®での清拭スタート Step

▶シリンジポンプ



液晶画面を拭く



装置全体を拭く



レバー等細部を拭く

▶輸液ポンプ



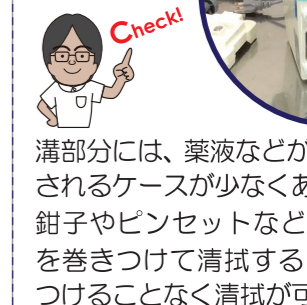
液晶画面を拭く



ボールクランプを外して、装置内部、本体を拭く



ボールクランプを拭く



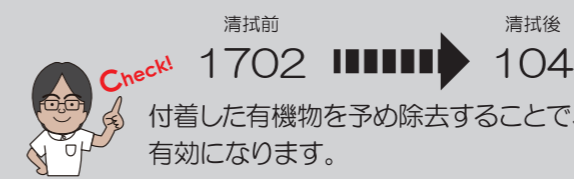
溝部分には、薬液などが付着して返却されるケースが少なくありません。鉗子やピンセットなどに Toraysee® を巻きつけて清拭すると本体をキズつけることなく清拭が可能です。

結果確認

【ATP (+AMP) 拭き取り検査】

ATP(+AMP)拭き取り検査で、Toraysee® 清拭前後での効果を確認できます。

<清拭前後の一例>



清拭前



清拭後

Q1. Toraysee® for CE の特徴は？

- 用途を選ばず、乾拭き、水拭き、消毒剤の含浸もできます。
- 丈夫で破れにくく、溝など汚れのたまりやすい箇所も鉗子やピンセットなどに Toraysee® を巻きつけて清拭できます。
- ウォーターパンチ加工により編目を乱してマイクロポケットを作り出し、縦横どちらの拭き取り方向でも OK です。
- 目に見えないマイクロの汚れを除去します。

Q2. いつ廃棄していますか？

- ① 拭き取り時の抵抗がなくなった時 (=ワイピング機能の低下)
- ② 感染症の患者様が使用した機器の清拭後
- ③ Toraysee® 表面の汚れが目視で確認できる時
→ 清拭の最後にコードを拭いて廃棄します。



汚れ落ちがよく、コード拭きにも最適です。

<参考> 保育器の清拭について

保育器の洗浄と消毒に関し、CDC*のガイドラインで『保育器の使用中に洗浄するときは消毒剤の使用はしない』とされています。そのようなことから、使用中の保育器を清潔に保つことは重要ですが、Toraysee® はガーゼやタオルなどに比べ清拭効果が高くリント（糸くず）が出ないので、保育器内部の清拭に有用です。また、アクリル製のフードなど薬剤に弱い素材で出来ているその他の部分にも Toraysee® を使用し清拭を行っています。（*加湿器など取り外しが可能なものに関しては洗浄機を使用し消毒を行っています。）

*CDC (Centers for Disease Control and Prevention) (<https://www.cdc.gov/ncidod/hip/enviro/guide.html>)

まとめ

Toraysee® は水を含ませるだけで清拭ができるため、保育器などには特に有用です。自分または家族が入院した時には、きれいな医療機器を使用して欲しいと思います。患者さまにも家族と同様に安心して医療機器を使用してもらえるように清拭を行い安全な医療機器を提供していきたいです。